令和７年度の一般会計予算は
337億4,935万円

予算特別委員会にて一般会計、所管常任委員会にて特別会計・企業会計の当初予算の審査を行い、３月21日の本会議において、多数の賛成をもって原案のとおり可決されました。

会計区分	本年度の予算	前年度の予算	増　　減
一般会計	337億4,935万円	300億2,957万円	37億1,978万円 増額
特別会計	153億9,133万円	149億3,971万円	4億5,161万円 増額
企業会計	50億2,957万円	46億9,430万円	3億3,526万円 増額
総　　計	541億7,025万円	496億6,359万円	45億　666万円 増額

特別会計：国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計、（本年度より）筑紫地区介護認定審査会事業特別会計

企業会計：水道事業会計、下水道事業会計

新年度予算を総チェック

質問：ふるさと納税寄附の令和６年度の状況について

回答：寄附額として20億円を見込んでいましたが、15億円程度になる見込みです。

質問：ふるさと納税寄附の令和７年度の計画について

回答：個人版として17億円、
企業版として３億円、合計20億円を見込んでいます。

質問：大学設立支援金（２億５千万円）の内容について

回答：（仮称）福岡国際音楽大学への支援金です。財源として、企業版ふるさと納税３億円のうち、２億５千万円を見込んでいます。

金額の根拠ですが、令和６年度に２億円余りの寄附が寄せられた実績があります。また、「音楽大学設立を支援する会」等福岡の企業が音楽大学への支援を表明されており、一定の寄附が見込めると考え、３億円を歳入計上しました。

質問：本市から寄附企業側に、音楽大学の設立支援に寄附金を充てたいと提案するのか

回答：音楽大学への寄附の意向は、寄附企業側からの意向になりますので、本市から寄附企業に働きかけることはありません。

質問：市民プールに続く、施設利用料の市外者料金の設定について

回答：スポーツ施設に設定している市外者料金について、文化施設にも導入を検討します。

質問：住宅防犯対策事業（1,000万円）の補助内容について

回答：防犯対策用品の購入費の半額（上限額3万円）を補助するものです。

質問：「ネーミングライツ」の導入について

回答：公共施設の施設命名権収入として、100万円の収入を見込んでいます。

質問：「まほろば号」の運行補助金が約3,200万円増えた理由について

回答：昨今の人件費や様々な物価・燃料費の高騰に加えて、
車載の機器の更新に費用を要するためです。

質問：路線バス運行維持補助金が大きく増額した理由について

回答：昨年までの宇美太宰府線に加えて、星ヶ丘線と南ヶ丘線に補助が必要になったためです。
補助金の内訳は、宇美太宰府線約400万円、星ヶ丘線約800万円、南ヶ丘線約200万円です。

質問：いきいき情報センター１階の「フリースペース」の拡張について

回答：学習スペースの要望が多いことから、そのスペースを拡張するものです。

質問：地球温暖化対策としてのエアコン購入費補助について

回答：65歳以上の高齢者世帯に対して、省エネ効果があるエアコン購入費の半額（上限額３万円）を補助するものです。

質問：ＬＰガス価格高騰対策補助金について

回答：前回の補助金は自己申請型でしたが、今回はＬＰガス協会の事業として、
ＬＰガスを使用する各世帯の料金から3,000円を上限に値引きする方式になります。

質問：防災備蓄品の充足状況について

回答：基準では２万食を確保するところ、現在３万食を確保しています。
賞味期限の１年前に約１万食ずつローテーションするローリングストックを行っています。

質問：学校教育運営費の約４億円の使途について

回答：主に児童生徒のタブレットの買い替えの予算と、充電保管庫１台分の購入費です。

質問：メタバースを活用した不登校支援事業について

回答：メタバース空間を利用して、そこでつながりを持たせる仕組みを考えています。支援者やサポートスタッフが携わり、既存の不登校対策事業ともつながる形を構想しています。

質問：学業院中学校校舎の改築に向けた進捗について

回答：校舎及び屋内運動場の改築工事等に関する基本設計、実施設計を行う予定です。